

全員協議会

感染症・経済対策を万全に

8月20日に全員協議会が開催され、感染症対策本部、緊急経済対策本部の状況などについて説明を受けた。

【これまでの経緯】

22回の感染症対策本部会議と13回の緊急経済対策本部会議を開催し対応してきた。

その間、7月13日に本町で初めて、町内のドライビングスクールに免許合宿に來られた東京都在住の20代男性の感染が確認されたが、保健所による濃厚接触者の把握、消毒などの指導がなされ、その後の感染拡大はなかった。

質疑

委員 庁舎の空調設備整備の詳細は。

当局 役場、中央公民館併せて、シーリングファン7か所を予定している。

委員 総合防災訓練と秋季演習は開催予定で進んでいるのか。

当局 今のところ予定どおり実施することによって準備を進めている。

委員 紅ほっぺのオンライン化は具体的にどのような事業か。また、いつから使えるようになるのか。

当局 大型モニターの設置、写真出力プリンターの設置、インカム購入などを進め、11月から稼働したい。

委員 医療従事者慰労金は、最大20万円とあるが、20万円支給されない方もいるのか。

当局 町立病院では最大20万円に全員該当する。

総務厚生常任委員協議会

町民生活が向上する方針に

8月20日に総務厚生常任委員協議会が開催され、白鷹町ICT（情報通信技術）推進方針について説明を受けた。

【策定の趣旨】

近年、AI（人工知能）などの新たなICTが著しく進展しており、人口減少や少子高齢化など町が抱える課題に対応するには、社会のさまざまな分野におけるICTの活用が不可欠となっている。

そのため、ICTの活用により、生産性の向上、町民生活の質の向上を推進することを目的とする。

【推進期間】
3年間（R3～R5）



質疑

委員 ICT推進方針の対象は。

当局 町が進めているさまざまなデジタル化情報通信に関する分野が入ってくる。役場の手続きなどに関するデジタル化も含まれる。

委員 現段階での課題は。

当局 スピードとセキュリティの確保。セキュリティを確保しながら使いやすいものにするということ。システムを作っても使っていないように研修も含めて進めていかなければならない。

産業建設常任委員協議会

意欲ある農業者に支援を

8月20日に産業建設常任委員協議会が開催され、人・農地リニューアル事業について説明を受けた。

【目的】

高齢化や労働力不足、土地持ち非農家の増加などにより発生している荒廃農地について、新規就農者や地域の担い手が当該農地を引き受けて再生作業を行う取り組みや荒廃農地の解消及び農業後継者の確保・育成を推進するために支援する。

【対象地区・面積】

萩野地区 130アール
菖蒲地区 51アール

質疑

委員 菖蒲地区について、約30年前、ラ・フランス等を約7ヘクタール植栽したが、荒廃農地が目立つようになってきた。この農地の



うち、今回実施する補助事業以外の区域の計画はどうなっているか。
当局 現段階では今回の対象面積のみ計画している。
委員 事業スケジュールをみると、今年の作付けには間に合わない。来年度も継続であれば、早めの事業展開をお願いしたい。
当局 今年度に入ってから山形県より照会があり、この時期にならざるを得なかった。今後も継続と考えられるので、農家ニーズにより進めたい。